

令和7年度 シラバス

教 科	国語	科 目	言語文化	学 年	第1学年	学 科 類 型	商業科
単位数	2 単位	教科書	高等学校 標準言語文化（第一学習社）				
副教材	標準言語文化 学習課題集（第一学習者） 改定三版 完全マスター古典文法（第一学習社） Look@古文単語337 改訂版（啓隆社）						

学習目標	1 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、言語文化に対する理解を深めることができる。 2 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
------	--

キャリア教育の視点	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養います。
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	古文入門	古語と現代語の違いを理解し、古文や漢文を読む基礎を学びます。 故事成語の成立背景を学びます。 物語の展開のおもしろさについて考え、用言について学びます。 言葉の持つ表現力について考え、理解を深めます。	中間考査
	5月	漢文入門		
	6月	故事成語		期末考査
	7月	古文に親しむ 随筆(一)		
2 学 期	8月	歌物語	平安時代の貴族の文化や登場する人々の心情を理解します。また、助動詞について学びます。 漢詩を読み味わい、漢詩の決まりを学習します。 小説を読む基本的な方法を学んで、内容を理解し、人間の心理に対する考えを深めます。 示唆に富む内容を読み味わい、人の生き方について考えます。	中間考査
	9月	詩		
	10月	小説を読む		期末考査
	11月			
	12月	史伝		
3 学 期	1月	随筆(二)	作者のものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈します。 孔子のものの見方や考え方を学んで理解し、自分の考えを深めます。 歌の詠まれた背景や内容に対する解釈を深めます。	学年末考査
	2月	思想		
	3月	古典の詩歌		

学習方法	『学習のしおり』8～10ページを参考にしてください。言語文化では、古文、漢文、近代以降の文章の3分野を学びます。教科書を中心に、言葉の特徴や使い方を身に付け、「書くこと」と「読むこと」を主とする「思考力、判断力、表現力等」を高めることができるように学習します。また、適宜副教材も活用し、より深い理解を目指します。さらに、定期的に古語テストを実施し、基礎学力の定着を図ります。
------	---

評価の仕方	評価の観点（「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」）に即して、学習活動における発言や行動及びノートや提出物などにより定期考査の得点と合わせて算出します。
-------	---

備考	
----	--